

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

アレルギー症状がある
(食物の関与が疑われる)

原因食物を食べた
(可能性を含む)

原因物質に触れた
(可能性を含む)

発見者が行うこと

- ① 子どもから目を離さない
- ② 助けを呼び、人を集める
- ③ エピペンと内服薬を持ってくるように指示する

緊急性が高いアレルギー症状はあるか？(見つけたらすぐに判断する)

【全身の症状】

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
または不規則
- 唇や爪が青白い

【呼吸器の症状】

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸

【消化器の症状】

- 持続する強いお腹の痛み
(がまんできない)
- 繰り返し吐き続ける

1つでもある

ない

緊急性が高いアレルギー症状への対応

- ① ただちに **エピペン**を使用
同時に救急車を要請(119番通報)
- ② エピペンがない場合 **すぐ救急車を要請**
- ③ その場で安静を保ち救急隊を待つ
- ④ 可能なら内服薬を飲ませる

エピペンは
迷ったら打つ

呼びかけに対して反応をしなくなった場合

- ・ 保健室または、安静にできる場所へ移動する
- ・ 最低でも2時間は症状の変化観察を行う

緊急性が高い
アレルギー症状が出現

心肺蘇生

呼びかけに対して反応がなく
呼吸がなければ心肺蘇生を行う
エピペンが到着次第使用する



忘れていませんか？
保護者等への連絡

安静を保つ体位

・ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため
仰向けで足を15~30cm高くする

・吐き気おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、
顔と体を横に向ける

・呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし
後ろに寄りかからせる